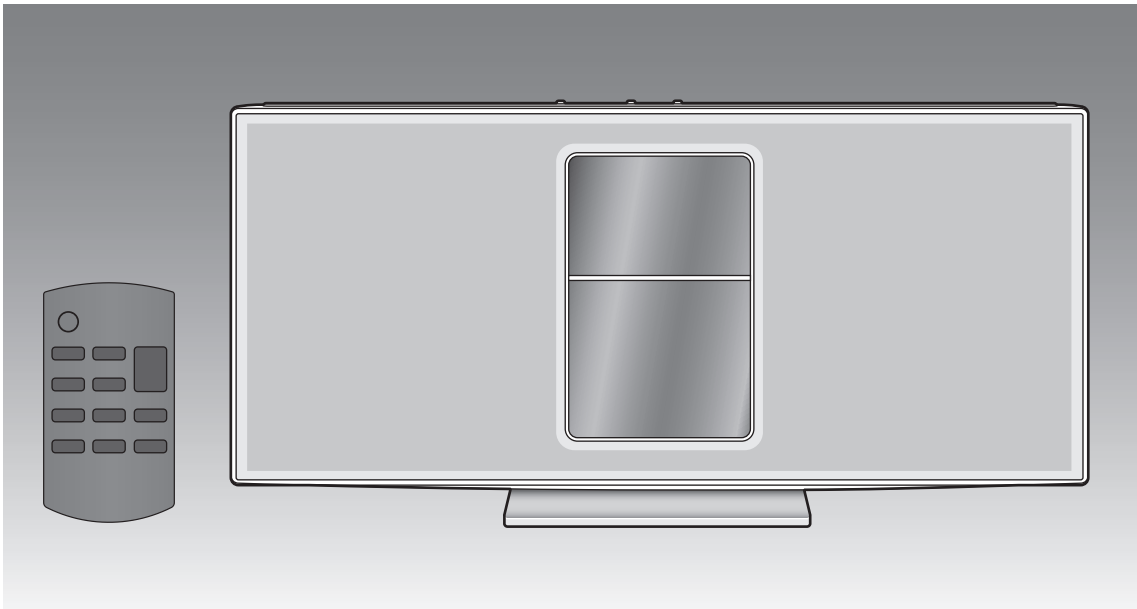
Panasonic®

安全上のご注意 | 準備 | iPod/iPhone | Bluetooth® | 使いこなす | 必要なとき

取扱説明書

コンパクトステレオシステム

品番 SC-HC05

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（➔ 13 ～ 15 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

困ったときは？

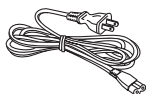
Q&A（よくあるご質問） ➔ 12 ページ
故障かな！？ ➔ 12 ページ

保証書別添付

RQTX1314-2S

付属品

付属品をご確認ください

かっこ【　】内は、2011 年 1 月現在の品番です。

□ **電源コード（1 本）**
【K2CA2CA00024】

□ **リモコン（1 コ）**
【RAK-SC988ZM】
・電池は内蔵されています。

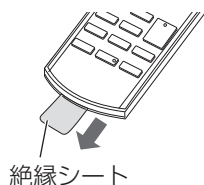
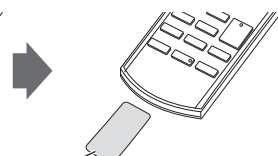
・電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
・包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
・小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

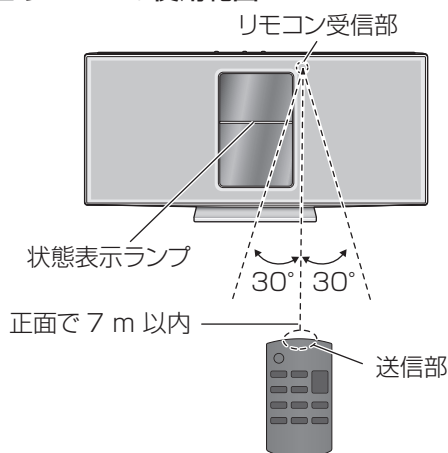
付属品（➔ 上記）と別売品（➔ 16 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm

リモコンの準備

絶縁シートを引き抜いてからお使いください。

・絶縁シートは抜いたあと、適切に処理をしてください。

■リモコンの使用範囲

・距離と角度はおよその数値です。
・[電源]（➔ 4 ページ）以外のリモコンボタンからの信号を受信すると、状態表示ランプが緑色に点滅します。

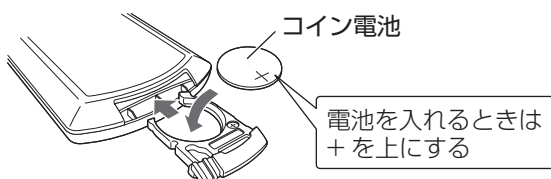
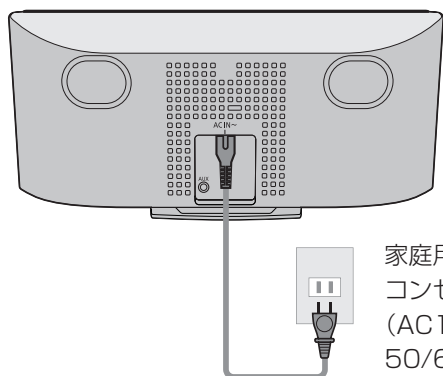
■使用上のお願い

・受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
・受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
・受信部と送信部のほこりに注意してください。

■電池を交換するときは

① ホルダーを引き抜く

② 電池を入れてホルダーを戻す

電池はコイン電池（CR2025）をお使いください。

電源の準備と設置

家庭用電源
コンセント
（AC100 V、
50/60 Hz）

接続後は、しばらく待ってから［電源］を押して電源を入れてください。

■ 電源コードを抜くときは

① ［電源］を押して電源を切る

② 電源ランプ（➔ 4 ページ）が消えてから電源コードを抜く

• 本機を移動するときは、iPod/iPhone を取り外してから電源を切ってください。

■ よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。
例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

• 平らで安定した場所に設置する
• スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
• 左右は壁から離す
• 堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
• 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する

お願い

• 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカードなど）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
• 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
• 通常の使用時でも音がひずんだときは、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

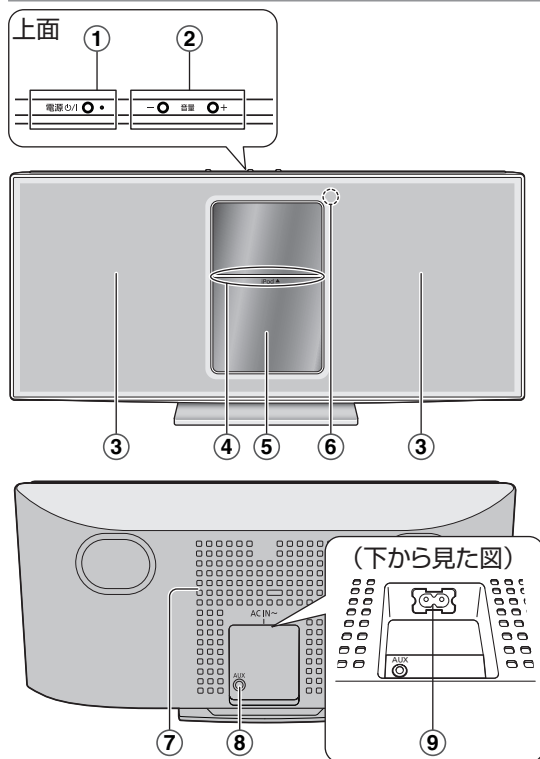
もくじ

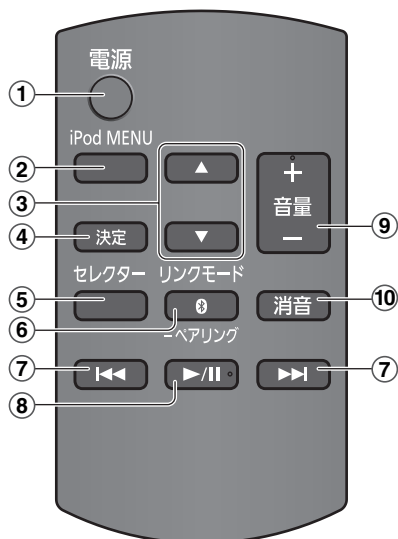
「安全上のご注意」を必ずお読みください（➔ 13 ～ 15 ページ）

各部のはたらき

■本書の説明について

• リモコンでの操作を中心に説明しています。

本体

	なまえやはたらき	参照ページ
①	[電源 ⏻/I] • 電源を入 / 切する	—
①	電源ランプ（赤色） - 点灯：電源入時 - 消灯：電源切（スタンバイ）時	—
②	[− 音量 +] • 音量を調節する※1	—
③	スピーカー部	—
④	状態表示ランプ - 緑色：iPod/iPhone セレクター - 青色：Bluetooth® セレクター - 消灯：外部入力セレクター • 消音中は下記のように点滅します。 iPod/iPhone セレクター時： 緑色と水色が交互に点滅 Bluetooth® セレクター時： 青色と水色が交互に点滅 外部入力セレクター時：水色が点滅	6 ～ 10
⑤	iPod/iPhone ドック部	5
⑥	リモコン受信部	2
⑦	通気孔	15
⑧	AUX（外部入力）端子	10
⑨	AC 入力端子	3

リモコン

	なまえやはたらき		参照ページ
①	[電源]	• 電源を入 / 切する	3
②	[iPod MENU]	• iPod/iPhone の選曲メニュー画面に入る	6
③	[▲] [▼]	• メニューを選ぶ	6
④	[決定]	• メニューを決定する • オートオフ機能を入 / 切する	6, 10
⑤	[セレクター]	• セレクターを切り換える※2	6 ～ 8, 10
⑥	[Bluetooth リンクモード −ペアリング]	• Bluetooth® をペアリング（機器登録）状態にする • Bluetooth® 通信時の品質を切り換える • 外部入力レベルを切り換える	8 ～ 10
⑦	[⏮] [⏭]	• スキップ / サーチする	6, 9
⑧	[▶/❙❙]	• 再生 / 一時停止する	6, 9
⑨	[+ 音量 −]	• 音量を調節する※1	6
⑩	[消音]	• 一時的に消音する 解除するには： - もう一度［消音］を押す - 音量を調節する - 電源を切 / 入する	—

※1 電源コードを抜くと自動的にお買い上げ時の音量に戻ります。

※2 電源コードを抜くとセレクターは自動的に Bluetooth®（iPod/iPhone が接続されていない場合）、または iPod/iPhone（iPod/iPhone が接続されている場合）になります。

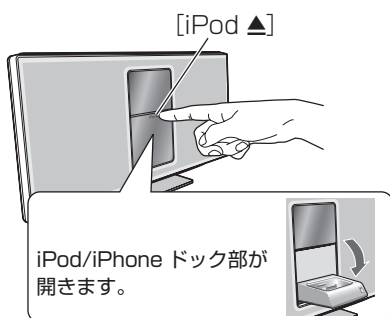
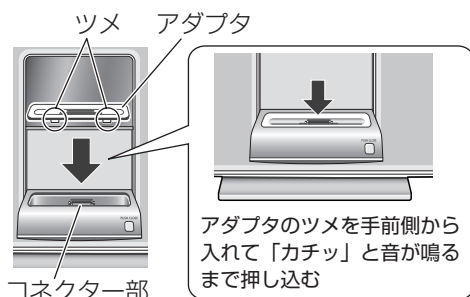
iPod/iPhone の音楽を聴く

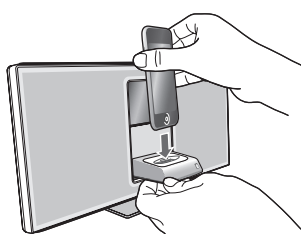
対応している iPod/iPhone を接続すると、
iPod/iPhone の充電、再生ができます。

- 接続時、iPod/iPhone ケースなどを付けている場合は取り外してください。
- iPod/iPhone に付属されている説明書などもお読みください。
- iPod/iPhone の対応機種については 17 ページをご覧ください。

iPod/iPhone のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

iPod/iPhone を本機に接続する

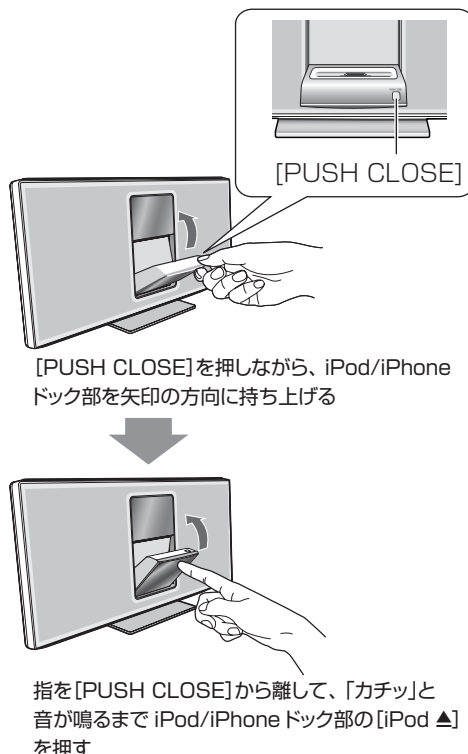
1 ［iPod ▲］を押す

2 iPod/iPhone 専用のアダプタを取り付ける

- **正しく接続するために、iPod/iPhone 専用のアダプタは必ず取り付けてください。アダプタを取り付けないと、コネクター部の破損の原因となります。**
- iPod/iPhone にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

3 iPod/iPhone ドック部を支えながら、
iPod/iPhone を挿し込む

■ iPod/iPhone を取り外すには

① iPod/iPhone ドック部を支えながら、
iPod/iPhone を取り外す

② iPod/iPhone ドック部を閉じる

［PUSH CLOSE］を押しながら、iPod/iPhone ドック部を矢印の方向に持ち上げる

指を［PUSH CLOSE］から離して、「カチッ」と音が鳴るまで iPod/iPhone ドック部の［iPod ▲］を押す

お願い

- コネクター部の破損の原因となりますので、iPod/iPhone の接続や取り外しはゆっくりと行ってください。
- iPod/iPhone ドック部を閉じるときは、必ず［PUSH CLOSE］を押しながら閉じてください。押さずに閉じた場合は破損の原因となることがあります。

お知らせ

- iPod/iPhone を接続すると、自動的にセレクターが iPod/iPhone に切り換わります。

iPod/iPhone を本機で充電する

本機に iPod/iPhone を接続する

● 充電が完了したかどうかは iPod/iPhone の画面で確認してください。

お願い

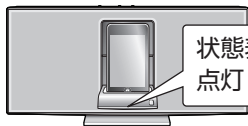
- 充電完了後、iPod/iPhone を長期間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

iPod/iPhone の音楽を聴く（つづき）

iPod/iPhone の音楽を本機で聴く

1 ［電源］を押して電源を入れる

2 本機に iPod/iPhone を接続する
（➜ 5 ページ）

セレクターが iPod/iPhone に切り換わります。

3 ［▶/❚❚］を押す

- ［▶/❚❚］は短く押してください。長く押すと再生できない場合があります。

本機のリモコンでの操作

一時停止する	［▶/❚❚］を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	［⏮］［⏭］を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	［⏮］［⏭］を聴きたい位置まで押したままにする
選曲メニュー画面に入る	［iPod MENU］を押す • 選んで決定するには［▲］［▼］を押して選び、［決定］を押す • 一つ前の画面に戻るときは［iPod MENU］を押す
音量を調節する	［＋ 音量 －］を押す

お知らせ

- セレクターが Bluetooth® や外部入力の場合、［セレクター］を数回押すことでも iPod/iPhone に切り換えることができます。
- iPod/iPhone が接続されていない場合、セレクターは iPod/iPhone に切り換わりません。
- 本機の電源切時に再生状態の iPod/iPhone を接続すると、自動的に本機の電源が入り（一部の機種を除く）、iPod/iPhone の再生を続けて楽しむことができます。
- 一部の機種では、アルバムやアーティストを選曲し直す場合に、本機から取り外して iPod 側で操作することが必要になります。

インターネットラジオを楽しむ

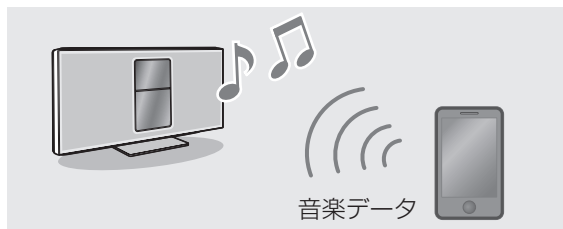
インターネットラジオのアプリケーション「vTuner for Panasonic」を、iPhone/iPod touch にインストールすると、本機で操作して楽しむことができます。

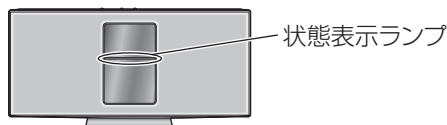
1 「vTuner for Panasonic」をインストールした iPhone/iPod touch を本機に接続する（➜ 5 ページ）

2 ［セレクター］を数回押してインターネットラジオに切り換える

- インターネットラジオに切り換わったかどうかは iPhone/iPod touch の画面で確認してください。
- 「vTuner for Panasonic」の使用できる iPhone/iPod touch の機種やバージョン、購入方法、インストールの方法、操作方法については、下記サイトをご覧ください。
http://radio.vtuner.com/panasonic/jp/

ワイヤレスで音楽を楽しむ

本機では、iPhone などの Bluetooth® 対応機器と接続して再生ができます。例えば、iPhone を手元で操作して、本機のスピーカーで音楽を聴いたり、本機のリモコンを操作して、パソコンや携帯電話の音楽を聴いたりできます。

Bluetooth®（ブルートゥース）とは…
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。11 ページ「Bluetooth® 使用上のお願い」もご覧ください。

● 状態表示ランプの点灯 / 点滅によって Bluetooth® の状態を確認できます。

セレクターが Bluetooth® のときは状態表示ランプが青色になります。

状態表示ランプ	Bluetooth® の状態
点灯	Bluetooth® 接続中
点滅（速い）	Bluetooth® 機器登録状態（ペアリング）
点滅（遅い）	Bluetooth® 接続待機状態

■ **初めてお使いになるときは**
機器登録が必要です。お持ちの Bluetooth® 機器を本機に登録してください。
➜ 下記「機器を登録して再生する」

■ **機器登録が済んでいるときは**
登録済みの Bluetooth® 機器と本機を Bluetooth® 接続します。
➜ 8 ページ「登録済みの機器を再生する」

■ **機器を追加登録するときは**
新たに Bluetooth® 機器を追加登録して再生を行います。
➜ 8 ページ「機器を追加登録して再生する」

機器を登録して再生する

本機側での操作

1 **[セレクター] を数回押してセレクターを Bluetooth® にする**

● 状態表示ランプが遅く点滅している場合は、「登録済みの機器を再生する」（➜ 8 ページ）の手順 2 から行ってください。

接続機器側での操作

2 **Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC05）を選んで登録する※**

iPod/iPhone の場合は、登録が済むと自動的に接続されます。

• 上記以外にも設定が必要な場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

3 **接続機器側の音楽再生画面で再生を開始する**

● 接続機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

お知らせ

※ Bluetooth® バージョンが 2.1+EDR に対応していない機器は、パスキーの入力が必要です。「0000」（本機（SC-HC05）のパスキー）を入力してください。
• iPod/iPhone を取り外すとセレクターは自動的に Bluetooth® に切り換わります。

ワイヤレスで音楽を楽しむ（つづき）

登録済みの機器を再生する

本機側での操作

1 **［セレクター］を数回押して セレクターを Bluetooth® にする**

接続機器側での操作

2 **Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC05）を選んで接続する**

- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **接続機器側の音楽再生画面で 再生を開始する**

- 接続機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

機器を追加登録して再生する

本機は、最大 6 つまで Bluetooth® 機器を登録しておくことができます。

本機側での操作

1 **［セレクター］を数回押して セレクターを Bluetooth® にする**

2 **［Bluetooth ーペアリング］を 2 秒以上 押したままにする**

接続機器側での操作

3 **手順 1 から 5 分以内に、Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC05）を選んで登録する※1**

- 5 分経過した場合は、手順 1 からやり直してください。

4 **接続機器側の音楽再生画面で 再生を開始する**

- 接続機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

お知らせ

※1 Bluetooth® バージョンが 2.1+EDR に対応していない機器は、パスキーの入力が必要です。「0000」（本機（SC-HC05）のパスキー）を入力してください。

- 機器登録で最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- 登録済みの機器を登録した場合は、上書きされます。
- Bluetooth® 接続中は機器登録できません。機器登録をする場合は、一度接続を解除してください。

Bluetooth® 接続中の機能

■ 接続を解除するには

下記の動作をすると接続が解除されます。

- 接続機器側で Bluetooth® 送信を中止する
- 本機または接続機器の電源を切る

■ 接続機器を本機で操作するには

Bluetooth® 接続機器を、本機のリモコンや本体ボタンで操作することができます。接続機器がパソコンの場合などに便利です。

本機のリモコンでの操作

一時停止する	[▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす※2 （スキップ）	[⏮] [⏭] を押す
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す

お願い

- iPod/iPhone で、Bluetooth® の設定画面を開いたままにしたり Bluetooth® の登録や接続などの操作を行ったりすると、本機が受信している音声が途切れることがあります。その場合は、iPod/iPhone の Bluetooth® 設定画面を閉じてください。
- [▶/❚❚] を押しても Bluetooth® 受信再生が始まらない場合は、一度接続機器側で Bluetooth® 接続を中止してから、もう一度 Bluetooth® 接続を行ってください。（詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。）

お知らせ

※2 機器によっては操作できないものもあります。

- Bluetooth® 接続で音楽を再生している iPod/iPhone を本機のコネクター部に接続すると、状態表示ランプが緑色に点灯し、iPod/iPhone は一時停止状態になります。再度再生を始める場合は [▶/❚❚] を押してください。

■ Bluetooth® 通信時の品質を設定する

音質、通信のどちらを重視するかを設定します。

- お買い上げ時の設定はモード 1 です。

Bluetooth® の接続が解除されている状態で
[Ⓑ リンクモード] を押す
押すたびに

モード 1 ⇄ モード 2

状態表示ランプが点滅します。

モード1→モード2： 水色に速く 4 回点滅
モード2→モード1： 水色に遅く 2 回点滅

モード 1： Bluetooth® 通信中の通信状態の安定性を重視（通信が途切れにくくなります。）
モード 2： Bluetooth® 通信中の音質を重視

お知らせ

- 通信品質の設定を本機側で音質重視（モード 2）にしても、接続機器側の設定が通信品質重視の場合、接続機器側の設定が優先されます。

対応している Bluetooth® について

推奨する Bluetooth® 対応機器の最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

■ 本機で Bluetooth® を楽しむには

接続機器が以下に対応している必要があります。

Bluetooth® バージョン
- Bluetooth® 標準規格 Ver.1.1、1.2、2.0+EDR または 2.1+EDR のいずれか

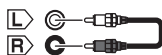
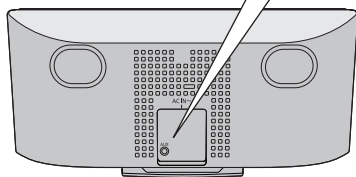
Bluetooth® プロファイル
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)

- 本機は SCMS-T 方式で著作権保護されている A2DP の受信に対応しています。
- 本機から Bluetooth® 対応機器への送信はできません。
- 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。
- 本機と接続機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
  また、接続機器をポケットやかばんに入れた状態で Bluetooth® 接続する場合、ポケットやかばんの位置、接続機器の向きによっては、音が途切れたり雑音が入る場合があります。

外部機器の音声を聴く

外部機器を接続する

外部機器
● ポータブル機器　● BS/CS チューナー
● ビデオデッキ　● 有線放送
など

• 電源を切った状態で接続してください。
• 接続機器の取扱説明書もご覧ください。

外部機器の音声を本機で聴く

① 外部機器の音質効果を無効にしておく
② 有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく
③ ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく
④ 本機の電源を入れておく

1 ［セレクター］を数回押してセレクターを外部入力（状態表示ランプ消灯）に切り換える

2 外部機器を操作して再生する

■ 音量に過不足を感じるときは：
入力レベルを変更します。
［ リンクモード －ペアリング］を押す
押すたびに

標準 ⇄ 高
に切り換わります。

標準	：音量が大きいとき
高	：音量が小さいとき

お知らせ
• スピーカーから出る音がひずんだり、ノイズが発生する場合は、入力レベルを標準に切り換えると改善されることがあります。
• 電源コードを抜くと入力レベルは自動的に標準に設定されます。

便利な機能

電源の切り忘れを防ぐ オートオフ

次のすべての状態で、ボタン操作のない状態が約 30 分以上続くと、自動的に電源が切れます。
• 外部機器や iPod/iPhone が無音に近い状態
• Bluetooth® 機器の未接続状態

• お買い上げ時のオートオフ機能は入です。

• ［セレクター］を数回押して状態表示ランプを青色または消灯に切り換えておく

■ オートオフ機能を入 / 切するには：
［決定］を 2 秒以上押したままにする
上記操作をするたびに

入 ⇄ 切
に切り換わります。

切り換わるたびに状態表示ランプが点滅します。
切：　水色に 1 回点滅
入：　水色に 2 回点滅

お知らせ
• オートオフ機能は切にしない限り、電源を切 / 入しても働きます。
• 電源コードを抜くとオートオフ機能は自動的に入になります。
• オートオフ機能で電源が切れる 1 分前から、電源ランプが点滅を繰り返します。

Bluetooth® 使用上のお願い

■ 使用周波数帯
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた（認定銘板に記載）
変調方式が FH-SS 方式

2.4 GHz 帯を使用

電波与干渉距離 10 m 以下

2.402 GHz ～ 2.480 GHz の全帯域を使用

Bluetooth® 機器使用上の注意事項
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター
（➜ 18 ページ）

■ 機器認定
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造する
- 本機下面に貼ってある認定銘板をはがす

■ 使用制限
- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機器対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作する場合がありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法･表示･動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離
見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響
- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  - 電子レンジ / ワイヤレス LAN … 約 5 m 以上
  - 電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話 / ファクスなど … 約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■ 用途制限
本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計･製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命･身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	有線放送をつなぎたい	AUX 端子に接続します。	10
	アナログレコードプレーヤーを接続したい	フォノイコライザー内蔵タイプのプレーヤーなら、AUX 端子に接続して使用可能です。（機器によってはコネクタ変換が必要です。）内蔵していないプレーヤーの場合は、外部にフォノイコライザー（他社品）を接続して AUX 端子に接続してください。	10
その他	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。	—

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
■システム全体に共通		
電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	次の操作をして、本機をお買い上げ時の設定に戻してください。 ① 一度電源コードを抜き、本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ② 電源ランプが点灯するまで、本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
再生中に「ブーン」という音がする	接続コードの近くに他機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。	—
	電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
電源ランプが点滅し、電源が勝手に切れる（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。 しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。） それでも同じ現象が起こる場合は、電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。	—
■iPod/iPhone		
iPod/iPhone を接続しても、認識されない	iPod/iPhone が対応している機種かどうか、確認してください。	17
	iPod/iPhone の状態を確認してください。	—
•［iPod MENU］で操作ができない • 充電が完了しても iPod/iPhone の電源が切れない	iPod/iPhone の状態を確認してください。 詳しくは、下記サポートページで確認してください。 http://panasonic.jp/support/audio/connect/	—
iPhone/iPod touch のアプリケーションが起動しない	iPhone/iPod touch の状態を確認してください。 詳しくは、下記サイトで確認してください。 http://radio.vtuner.com/panasonic/jp/	—
■Bluetooth®		
• 音が途切れる • 音が飛ぶ • 雑音が多い	Bluetooth® 通信中に、次のことが考えられます。 • 携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 • 携帯電話の仕様や設定により、携帯電話の操作時に音が途切れる場合があります。	—
	Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしていませんか。接続機器に近づける、また障害物を避けてご使用ください。	—
	通信品質が音質重視になっていませんか。モード 1 に設定してみてください。	9
■リモコン		
リモコン操作ができない	絶縁シートが入っていませんか。絶縁シートを引き抜いてください。	2
	コイン電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	2
	新しいコイン電池と交換してください。	2
• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、他の機器のリモコンモードを変更してください。	—

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■**誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

禁止	してはいけない内容です。
強制	実行しなければならない内容です。
注意	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

● 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

コイン電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

● 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

● 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

コイン電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外のコイン電池を使わない**
- **⊕ と ⊖ は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- iPod/iPhone は、保護のため取り外しておいてください。

別売品のご紹介

2011 年 1 月現在の品番です。

■ 外部機器とつなぐには

● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ピンプラグ）

- RP-CAPM3G15（1.5 m）

● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ステレオミニプラグ）

- RP-CAM3G15（1.5 m）

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- スピーカーネット部は、乾いたきめの細かい布（眼鏡ふきなど）でふいてください。（ティッシュや、繊維がほどけやすい布（タオルなど）は使用しないでください。）
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

Made for iPod iPhone

「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

- 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力 (両 CH 動作)	40 W (20 W + 20 W) 6 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ 入出力端子部

AUX	ステレオミニ（∅ 3.5 mm）
iPod/iPhone 端子	iPod/iPhone 専用端子

■ Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 2.1+EDR
送信出力	Class 2（2.5 mW）
対応プロファイル	A2DP（受信：SCMS-T 対応）、AVRCP
通信方式	2402 ～ 2480 MHz（AFH-SS：適応型周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
見通し通信距離	約 10 m（iPhone 4、高さ 1 m、モード 1（通信品質重視モード）の条件で測定）※1
電波与干渉距離	10 m 以下

■ スピーカー部

形式	2 ウェイ 2 スピーカーシステム （パッシブラジエーター型） ウーハー：6.5 cm × 2　コーン型 ツイーター：1.5 cm × 2　ピエゾ型 パッシブラジエーター：8 cm × 4
インピーダンス	6 Ω

■ 総合

電源	AC100 V，50/60 Hz
消費電力	16 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	370 mm × 176 mm × 121 mm (iPod/iPhone ドック部を開いているとき) 370 mm × 176 mm × 85 mm (iPod/iPhone ドック部を閉じているとき) 本体厚み 59 mm：スタンド部除く※2
質量	約 1.8 kg
許容動作温度	0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※3）時の消費電力：約 0.05 W

※1 使用条件などにより異なる場合があります
※2 スタンド部は取り外しできません
※3 iPod/iPhone 非充電時

注：
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

本機で使用できる iPod/iPhone（2011 年 1 月現在）

名前	容量
iPod touch 第 4 世代	8 GB, 32 GB, 64 GB
iPod nano 第 6 世代	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 3 世代	32 GB, 64 GB
iPod nano 第 5 世代（ビデオカメラ）	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod classic	120 GB, 160 GB (2009)
iPod nano 第 4 世代（ビデオ）	8 GB, 16 GB
iPod classic	160 GB (2007)
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代（ビデオ）	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB

名前	容量
iPhone 4	16 GB, 32 GB
iPhone 3GS	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPhone 3G	8 GB, 16 GB

- ご使用の iPod/iPhone またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますので、最新のバージョンをご使用ください。
- 詳しくは、下記サポートページで確認してください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理　などは

■ **まず、お買い求め先へ** ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」（➜ 12 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

● 製品名	コンパクトステレオシステム
● 品　番	SC-HC05
● 故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年

当社は、このコンパクトステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、** 次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は**……………………………

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● **修理に関するご相談は**……………

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1210

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は……………………………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のコンパクトステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	**故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	SC-HC05
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQTX1314-2S
H0111ZM2031